

済生会松阪総合病院を受診された患者様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の間い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	Interventional EUS の交差感染リスク管理：監視培養で同定した高リスク機種と使用頻度の関連
当院の研究責任者	内科 黒田直起
他の研究機関および各施設の研究責任者	特にありません
本研究の目的	I-EUS7 の安全性を支える感染制御の方策として、十二指腸内視鏡と超音波内視鏡の残存汚染状況を監視培養で評価し、残存汚染のリスク因子を同定すること
調査データ 該当期間	2020年4月1日から2025年3月31日
研究の方法 (使用する資料等)	当院で保管している十二指腸鏡、及び超音波内視鏡に加えて上下部消化管内視鏡の定期監視培養の記録と使用・洗浄記録を元に残存汚染の機種別残存汚染率を比較し、さらに残存汚染のリスク因子解析を行う。また、観察期間中における I-EUS の感染性偶発症の発生件数についても調査を行う
試料・情報の 他の医療機関への提供	特にありません
個人情報の取り扱い	研究に使用する情報に個人を特定できる情報は削除します。学会および論文発表において対象者を特定できる個人情報は一切使用しません。
本研究に係る資金 (利益相反)	特にありません
お問合せ先	0598-51-2626 内科 黒田 直起